

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	古絵地図アーカイブを通じた地域ガイド養成事業
事業主体 (連絡先)	阿智村 0265-43-2220
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	737,400 円

## 事業内容

村内に残る江戸～明治時代の古地図約189枚をデジタル化し保管するとともに、パネルを作成し、村内各地区で住民の学習に取り組んだ。また東山道・園原ビジターセンター「はき木館」において企画展「アチムラノコチズ」を実施し、作成物を展示した。

事業実施にあたっては村民からプロジェクトメンバーを募り、地図の収集、整理、学習にあたった。



【古地図の学習会の様子】

## 【目標・ねらい】

- ①古地図をデジタル化し、記録保存するとともに活用する
- ②各地区で住民が事業に取り組むことで地域の歴史学習に取り組む
- ③ビジターセンターで企画展を開催し、村内外の人に見てもらおう
- ④今回の学習を通して、地域案内ガイドに取り組む人を育成する

## ※自己評価【B】

## 【理由】

地域の人たちが学習会等に熱心に参加し、古地図の学習に取り組むことで、新たな地域ガイドの養成も着実に進んでいる。

## 事業効果

- ①古地図をデジタル化することで将来にデータを残すとともに、今後活用する可能性が開けた。またパネルを作成したことで村民の目に触れる機会が増えた。
- ②各地区で住民が地図の収集、整理、学習に取り組むことで地域の歴史史料保全の重要性から、地区の昔の様子まで広く学習することができた。
- ③ビジターセンターで企画展を実施することで阿智村民のみならず観光客まで広く阿智村の歴史を知る機会を提供できた。
- ④地域案内ガイドになるためには、地区の歴史への理解が不可欠であり、本事業はガイド養成のための学習のベースとなった。ガイド養成が着実に進み、来年度は学習会参加者が中心となって新たな地域案内ガイド人組織が立ち上がることとなった。

## 今後の取り組み

- ・作成した地図パネルは各地区で保管し、地区の拠点施設で展示したり、地区を案内する際に利用していく。
- ・撮影データは今後、各地区における歴史学習会の資料などとして活用していく。また展示作成の際に活用する。
- ・2019年度は地域案内ガイド組織を立ち上げる予定であり、本事業に参加した人たちがガイドとして参加することになっている。ガイドに際してはパネルを活用して地域の歴史を説明していく。